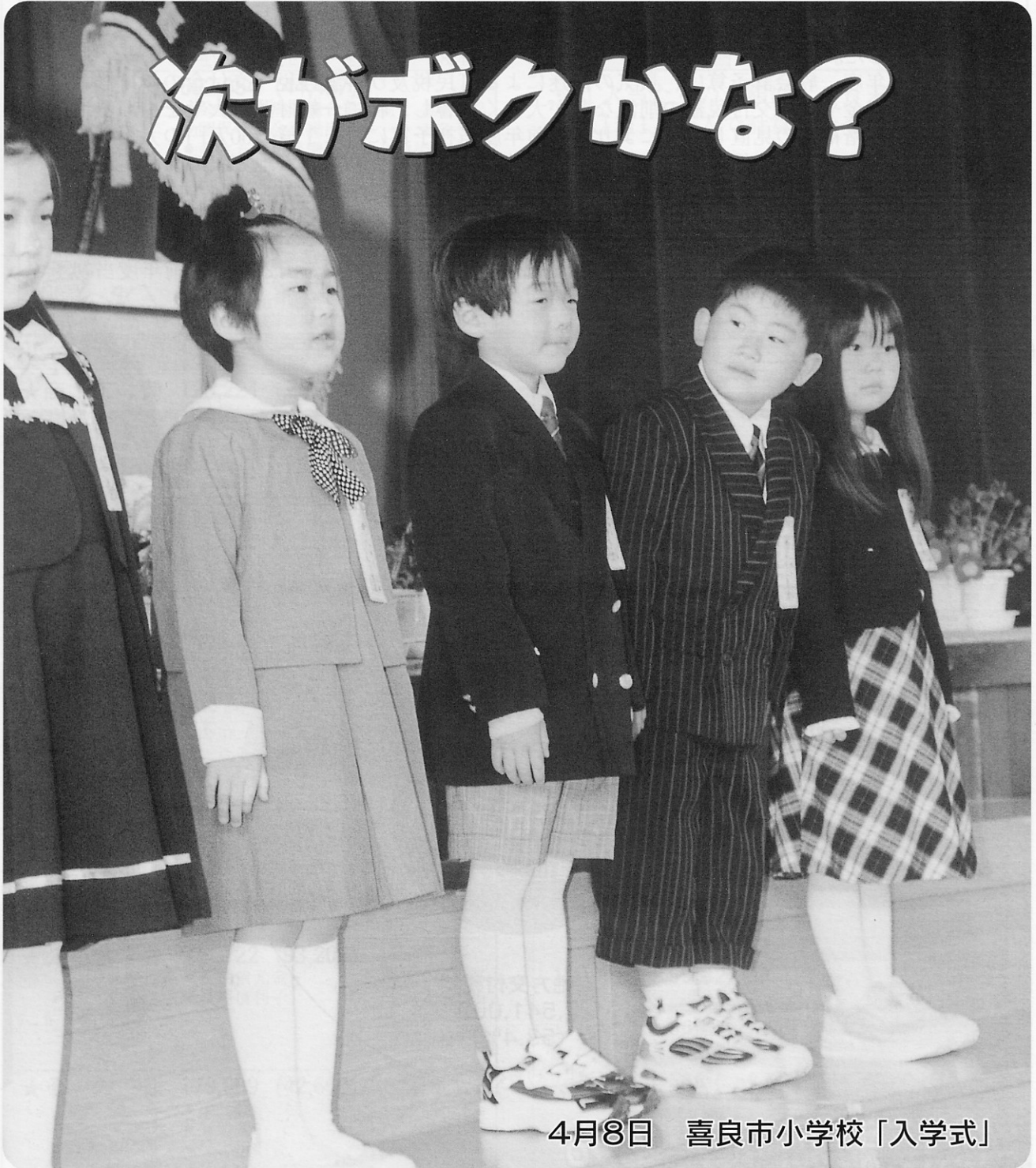


次がボクかな？



4月8日 喜良市小学校「入学式」

47億5,873万円

平成14年度一般会計、特別会計の各当初予算が第179回金木町議会定例会(3月議会)で議決されました。




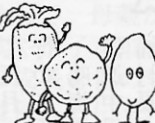




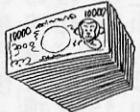
平成14年度一般会計予算は、景気の低迷による町民税及び各譲与税・交付金の伸び悩み、国・県支出金や地方交付税額の削減などが大きく影響し、特に一般財源の大半を占める地方交付税が段階補正の見直しなどにより、対前年度当初予算に対し1億4700万円の大幅な減額となりました。また、経済対策や社会資本の整備のために借り入れた地方債の元利償還金が大幅に増加しました。

こういった厳しい財政状況の中、当初予算編成に当たっては、行政の各分野を通じた事務事業の見直し、徹底した経常経費の節減を推進し、限られた財源を可能な限り有効に活用することに努めたところ、予算規模は歳入歳出それぞれ47億5,873万円となり、前年度当初予算に対して3億810万円、6.1%の減となりました。



今年度の主な歳出

【単位：千円】 ()は前年度当初予算との増減額

★総務費 684,369 (△1,348)  <ul style="list-style-type: none"> ●地方バス路線維持 9,103 ●旧喜良市小学校解体工事費 5,500 ●広報かなぎ印刷製本費 3,948
★民生費 660,411 (7,078)  <ul style="list-style-type: none"> ●介護保険特別会計繰出金 131,875 ●重度心身障害者医療費助成 23,000 ●更生援護施設事務費 18,900 ●介護予防・生活支援対策事業 10,373 ●町社会福祉協議会補助金 10,175 ●在宅介護支援センター運営事業 8,488
★衛生費 692,054 (44,487)  <ul style="list-style-type: none"> ●公立金木病院組合負担金 207,272 ●国保特別会計繰出金 113,583 ●西北五環境整備事務組合負担金 103,568 ●水道事業特別会計高料金対策繰出金 51,898
★農林水産業費 414,515 (△88,768)  <ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと農道緊急整備事業工事費 85,450 ●農業集落排水事業特別会計繰出金 31,956 ●農業生産総合対策条件整備事業補助金 28,050 ●中山間地域等直接支払制度交付金 20,648 ●地域営農再編誘導事業補助金 10,365 ●あおもり野菜産地育成強化事業補助金 8,140
★商工費 125,224 (△61,695)  <ul style="list-style-type: none"> ●県信用保証協会貸付金 24,000 ●芦野公園管理費 20,164 ●津軽三味線会館管理費 18,885
★土木費 288,216 (△320,249)  <ul style="list-style-type: none"> ●新ふるさとづくり町道整備事業費 99,392 ●除雪対策費 99,305 ●舗装側溝等工事費 15,000
★消防費 341,409 (11,912)  <ul style="list-style-type: none"> ●津軽北部広域事務組合負担金 306,285 ●消防ポンプ自動車購入費 12,414 ●消火栓新設工事費 1,652 ●蒔田コミュニティ消防センター水洗化工事費 1,625
★教育費 439,401 (△35,379)  <ul style="list-style-type: none"> ●嘉瀬スキー場整備工事費 36,299 ●学校用コンピュータ借上料 12,869 ●幼稚園就園奨励費補助金 5,142 ●外国青年招致事業費 4,749 ●すくすく子育て支援費補助金 1,925
★公債費 934,122 (93,202)  <ul style="list-style-type: none"> ●長期債元金 716,886 ●長期債利子 217,236
★その他 179,009 (42,660) <ul style="list-style-type: none"> ●議会費 76,296 ●労働費 9,513 ●災害復旧費 75,109 ●諸支出金 13,091 ●予備費 5,000

町税の内訳

	金額 (単位：千円)	町民1人当たりでは (単位：円)
町民税	241,937	20,321
固定資産税	338,560	28,436
軽自動車税	20,611	1,731
町たばこ税	82,360	6,918
計	683,468	57,406

※1人当たりの金額は、2月末現在の町の人口11,906人で計算したものです。

特別会計

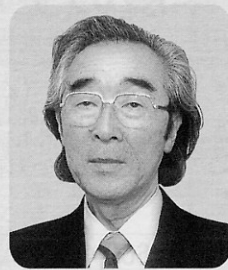
(単位：千円)

国民健康保険特別会計	1,320,612
老人保健特別会計	975,535
農業集落排水事業特別会計	173,026
介護保険特別会計	825,361
水道事業会計	291,409

過去10年間の当初予算の推移



教育長に木下氏選任



木下 巽 教育長
嘉瀬(69歳)

＊ ＊ 趣 味 ＊ ＊
太 宰 治 研 究
ウ オ ー キ ン グ

三月二十六日に開かれた町教育委員会で木下巽氏が教育長に選ばれ、三月二十七日付で任命されました。

木下教育長は昭和二十六年に沖飯詰小学校で教鞭を執り、その後約四十年にわたり各中学校の教師として務めました。

この間に武田小学校長、五所川原南小学校長を歴任。

木下教育長は「本年度から、学校五日制がはじまり完全週休二日の時代に入ります。これは、学校、家庭、地域社会が一体となつて、子どもたちに、自然体験や社会体験の機会を多くし、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力をはぐくもうとするのがその趣旨です。地域社会全体で、子どもを育てる環境充実のためのご理解ご協力をお願い申し上げます。

教育行政は、教育の目的達成のため、諸条件を整備確立することを目指すものです。しかし、少子化に伴う「児童・生徒の減少」「校舎の老朽化」「厳しい財政上の実情」を見据え、これらにかかわる諸課題に取り組んで参ります。」と今後の抱負を語っていました。

地域住民のより有益な社会実現に向けて 津軽北部地方合併協議会

設置調印式



津軽北部地方合併協議会設置協定書調印式

中里町中央公民館において三月二十五日、調印式が行われました。鳴海義男金木町長、小野俊逸中里町長、高松隆三市浦村長、加藤久宜小泊村長が出席して、四町村が合併について検討する任意の合併協議会の設置協定書に署名し、「津軽北部地方合併協議会」が発足しました。会長を務める鳴海町長は「住民参加に重きをおいた合併が望ましく、地域住民の意識が重要である。合併によるメリット・デメリットや支援策等参考となる情報を住民に提供し、住民の生活向上を命題として検討していきたい」とあいさつしました。

金木町の構成メンバー

- 角田昭次助役
- 三渦春樹議長
- 中谷秀八副議長
- 高杉利彦総務民生常任委員長
- 中村 政徳 (住民代表)
- 佐藤 政一 (住民代表)
- 櫛引八千代 (住民代表)

第1回 協議会



津軽北部地方合併協議会

四月九日、中里町総合文化センター「パルナス」で第一回津軽北部地方合併協議会が開催されました。会議に先立ち、構成委員となる四町村の助役、議会正副議長、関係常任委員長、住民代表及び県市町村振興課長ら二十九人に、会長の鳴海町長から一人ひとりに委嘱状が手渡されました。

会議では、協議会規約などの報告後、運営規定案などの協議事項について話し合わせ、事業計画や予算などが承認されました。これにより、住民への情報提供や住民アンケートなどを実施し、この結果をもとに会議を行い八月ごろまでに合併の方向性をまとめることになりました。

決定協議事項(抜粋)

- ◆ 会議運営規定
 - 議事は全会一致が原則
 - 会議は傍聴証の交付を受けて傍聴できる
- ◆ 事業計画
 - 会議は年四回を計画
 - 委員先進地視察研修
 - 住民意識調査、中高生意識調査など
 - 四町村の議会議員全員及び職員を対象とした研修会または勉強会開催
 - まちづくり講演会またはシンポジウム開催
 - 協議会だより及びリーフレットの配布
- ◆ 予 算
 - 歳入 八〇〇万二千元
 - 負担金 六〇〇万円
 - 県支出金 二〇〇万円
 - 諸収入 二千元
 - 歳出 八〇〇万二千元
 - 会議運営費 三五二万五千元
 - 事務費 三八九万五千元
 - 事業推進費 五四万円
 - 予備費 四万二千元
- ◆ ホームページ開設

平成13年度

金木町褒賞 功労者7人受賞

平成13年度金木町褒賞授与式が3月19日、役場3階大会議室で開催され、各分野で活躍し町の発展に貢献した7名が表彰されました。

授与式では鳴海町長と三潟議長が功労に対するねぎらいとお礼の言葉を述べ、高杉総務民生常任委員長が経過報告を行いました。

この後、受賞者一人ひとりに褒賞状と記念品が贈られ、これに対し受賞者を代表して朝日町の千田正雄さんが「本日の受賞を契機に、決意を新たに金木町の発展のため微力ながら尽力いたします」と謝辞を述べました。

受賞者は次のとおりです。(敬称略)



特別功労褒賞

◆褒賞規則第4条第3号

藤本	勇	(町内事業所永年勤続)
大佐賀	幸雄	(交通安全功労)
千田	正雄	(交通安全功労)

◆褒賞規則第4条第5号

古川	明美	(納税組合功労)
土岐	忠敏	(納税組合功労)
沢田	政孝	(納税組合功労)
徳田	清美	(納税組合功労)

まちのできごと

介護支援車を寄贈

3月24日、中央公民館で開催された金木ライオンズクラブ結成25周年式典の記念事業として、金木町社会福祉協議会へ介護支援車が寄贈されました。

式典では、新潟忠道同クラブ会長から角田正男同協議会長へ目録が贈呈されました。

同クラブはこれまで小学校へのピアノ寄贈、精薄施設や老人ホーム等慰問など地域に密着した奉仕活動を実施している。



交通安全マスコット配布

4月2日の早朝、交通安全協会嘉瀬支部婦人部(部長=澤田スゲ)15人が、嘉瀬小学校付近の交差点で「無事にカエル ケロちゃん 交通安全」と書いた短冊を付けたカエルのマスコットを道ゆくドライバーに配布し、交通安全を呼びかけました。

この呼びかけは、6日から始まる春の交通安全運動に先がけて行われ、マスコットは同婦人部の手作りで作成。



白寿のお祝い

入院先の尾野病院1階談話室で4月9日、99歳の誕生日を迎えた嘉瀬の三上長太郎さんへ鳴海町長から白寿の顕彰状と祝金99万円が贈られました。

これまで顕彰を受けたのは三上さんで7人目、男性では2人目となりました。

長寿の秘訣をたずねると三上さんは「食事は野菜と魚中心で、血液の循環を良くする少しの酒」と笑顔で話していました。

